

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	更新年月日		直近の更新年月日
黒石市	六郷地区 (竹鼻、高館、三島、赤坂、安入、派立、中十川、留岡、長坂)	令和2年3月24日	令和3年3月25日 (1回目更新)	令和4年12月5日 (2回目更新)	令和5年3月20日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	1044.4ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	570.2ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	361.3ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	21.1ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	282.1ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	130.3ha
(備考) ②及び③について、令和元年度時に実施したアンケート調査を参照。	

注1: ③には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2: ④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3: アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4: プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

### 2 対象地区の課題

水田は大規模農家や農業法人へ貸付け、果樹を個人で経営している農業者が多い地域で、水田については担い手がいるが果樹は今後高齢化に伴い新たな受け手の確保が必要。
--

注: 「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

竹鼻について、水田利用は27経営体が担い、果樹利用も18経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進していく。
高館について、水田利用は19経営体が担い、果樹利用も21経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進していく。
三島について、水田利用は8経営体が担い、果樹利用も10経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進していく。
赤坂について、水田利用は11経営体が担い、果樹利用も13経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進していく。

安入について、水田利用は1経営体が担い、果樹利用は入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進していく。

派立について、水田利用は17経営体が担い、果樹利用も18経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進していく。

中十川について、水田利用は7経営体が担い、果樹利用も9経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進していく。

留岡について、水田利用は4経営体が担い、果樹利用も4経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進していく。

長坂について、水田利用は21経営体が担い、果樹利用も25経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進していく。

注1: 中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2: 「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

#### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地中間管理機構の活用方針  
原則として、農地中間管理事業を活用し農地を集積・集約していく。

基盤整備への取り組み方針  
農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大区画化等の基盤整備に取り組んでいく。

(参考) 中心経営体

令和4年12月末

属性	経営体 (氏名)	経営者・代 表者の年齢	現状		今後の農地の引受けの意向			新規就農・ 6次産業化・ 高付加価値化・ 複合化・ 低コスト・ 法人化 等の取 組	備考
			経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲		
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稲	0.26 ha	果樹 水稲	3.35 ha	長坂、中十川	高付加価値化、 複合化、低コスト 化、規模拡大	
認農 法	※※ ※※	※※ 才	水稲 果樹 野菜	16.18 ha	水稲 果樹 野菜	20.00 ha	竹鼻、高館、三 島、赤坂、中十川	高付加価値化、 複合化、低コスト 化、規模拡大	うち機構 面積 2.93ha
到達	※※ ※※	※※ 才	水稲 野菜	1.98 ha	水稲 野菜	1.98 ha	竹鼻	高付加価値化、 低コスト化、規 模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	野菜	0.13 ha	野菜	0.13 ha	竹鼻、派立	6次産業化、高 付加価値化、複 合化、低コスト 化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稲 野菜	1.73 ha	水稲 野菜	1.73 ha	中十川、長坂	6次産業化、高 付加価値化、複 合化、低コスト 化、規模拡大	うち機構 面積 0.88ha
認農 法	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稲	3.63 ha	果樹 水稲	5.28 ha	竹鼻、高館	6次産業化、高 付加価値化、複 合化、低コスト 化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稲	1.52 ha	水稲	0.71 ha	長坂	6次産業化、高 付加価値化、低 コスト化、規模 拡大	うち機構 面積 0.21ha
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稲	1.60 ha	果樹 水稲	2.00 ha	竹鼻、高館	高付加価値化、 複合化、低コスト 化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稲 野菜	2.57 ha	水稲 野菜	3.00 ha	竹鼻、高館	6次産業化、高付 加価値化、複合 化、低コスト 化、規模拡大	

認農	※※ ※※	※※ 才	水稻	1.56 ha	水稻	1.56 ha	竹鼻	6次産業化、高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	1.93 ha	果樹 水稻	2.79 ha	赤坂	高付加価値化、複合化、低コスト化	
認農法	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜 果樹	8.21 ha	水稻 野菜 果樹	40.00 ha	竹鼻、三島	低コスト化、規模拡大	うち機構面積 3.07ha
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹	2.28 ha	果樹	2.28 ha	高館、赤坂	高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	1.10 ha	果樹 水稻	1.80 ha	竹鼻、高館	高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	1.99 ha	果樹 水稻	1.90 ha	三島、赤坂	高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	2.19 ha	果樹 水稻	3.04 ha	三島	高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	2.69 ha	果樹 水稻	2.80 ha	中十川、長坂	高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 果樹	7.65 ha	水稻 果樹	8.76 ha	赤坂	高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻	20.41 ha	水稻	30.00 ha	竹鼻、高館、三島、赤坂	6次産業化、高付加価値化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 8.31ha
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹	1.70 ha	果樹	1.70 ha	三島、赤坂	高付加価値化、複合化、低コスト化	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	3.43 ha	果樹 水稻	3.43 ha	派立、長坂	高付加価値化、低コスト化、複合化	

認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 果樹	7.96 ha	水稻 果樹	7.96 ha	竹鼻、三島、高館	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 0.97ha
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻 果樹	3.83 ha	水稻 果樹	4.80 ha	高館、赤坂	高付加価値化、複合化、低コスト化	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	0.00 ha	果樹 水稻	5.20 ha	竹鼻、派立	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻 野菜	1.02 ha	果樹 水稻 野菜	1.40 ha	長坂	高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹	3.81 ha	果樹	3.81 ha	留岡、長坂	高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	4.78 ha	果樹 水稻	5.24 ha	留岡、長坂	高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 0.60ha
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻 花卉	5.66 ha	果樹 水稻 花卉	5.66 ha	三島、赤坂	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 野菜	0.51 ha	果樹 野菜	1.00 ha	長坂	高付加価値化、低コスト化、複合化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻	1.19 ha	水稻	2.46 ha	留岡	6次産業化、高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹	1.07 ha	果樹	2.20 ha	長坂	高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻 果樹	1.00 ha	水稻 果樹	2.00 ha	派立	高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 花卉 野菜	4.93 ha	果樹 花卉 野菜	5.00 ha	派立、長坂	6次産業化、高付加価値化、低コスト化、複合化、規模拡大	

到達	※※ ※※	※※ 才	水稻 野菜	2.29 ha	水稻 野菜	3.00 ha	竹鼻、高館	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹	0.00 ha	果樹	2.06 ha	高館	高付加価値化、 低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	3.69 ha	果樹 水稻	3.69 ha	高館、赤坂	高付加価値化、 低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	1.72 ha	果樹 水稻	5.76 ha	派立、長坂	高付加価値化、 複合化、低コスト化	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	2.12 ha	果樹 水稻	2.20 ha	派立、長坂、中十川	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹	0.95 ha	果樹	1.70 ha	派立、中十川	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	1.82 ha	果樹 水稻	2.20 ha	竹鼻、高館	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	3.19 ha	果樹 水稻	3.19 ha	留岡、長坂	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	1.51 ha	果樹 水稻	3.00 ha	竹鼻、高館	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	2.18 ha	果樹 水稻	3.10 ha	竹鼻	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	3.54 ha	果樹 水稻	8.63 ha	長坂	高付加価値化、 複合化、低コスト化、規模拡大	

認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	3.48 ha	果樹 水稻	3.50 ha	竹鼻、高館	高付加価値化、 複合化、低コスト 化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	4.36 ha	果樹 水稻	4.36 ha	長坂、派立	高付加価値化、 複合化、低コスト 化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹	2.63 ha	果樹	3.00 ha	高館、三島	高付加価値化、 複合化、低コスト 化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	1.90 ha	果樹 水稻	2.10 ha	竹鼻	高付加価値化、 複合化、低コスト 化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	1.33 ha	果樹 水稻	2.00 ha	長坂、派立	高付加価値化、 複合化、低コスト 化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	2.51 ha	果樹 水稻	2.51 ha	長坂、派立	高付加価値化、 複合化、低コスト 化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹	1.93 ha	果樹	2.00 ha	高館	高付加価値化、 複合化、低コスト 化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	3.48 ha	果樹 水稻	7.30 ha	竹鼻	高付加価値化、 複合化、低コスト 化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	2.23 ha	果樹 水稻	2.23 ha	竹鼻、高館	高付加価値化、 複合化、低コスト 化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	1.83 ha	果樹 水稻	2.65 ha	長坂	高付加価値化、 複合化、低コスト 化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹	1.08 ha	果樹	1.95 ha	長坂	高付加価値化、 低コスト化、規 模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	3.30 ha	果樹 水稻	5.70 ha	派立	高付加価値化、 複合化、低コスト 化、規模拡大	

認農 法	※※ ※※	※※ 才	果樹 野菜	15.13 ha	果樹 野菜	16.04 ha	派立、留岡、長坂	6次産業化、高付 加価値化、複 合化、低コスト 化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	4.67 ha	果樹 水稻	4.67 ha	高館	新規就農、高付 加価値化、低コ スト化、規模拡 大	
到達	※※ ※※	※※ 才	野菜	2.89 ha	野菜	3.00 ha	高館	新規就農、高付 加価値化、低コ スト化、規模拡 大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹	0.78 ha	果樹	1.50 ha	派立	新規就農、高付 加価値化、低コ スト化、規模拡 大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹	1.05 ha	果樹	2.00 ha	中十川、長坂	新規就農、高付 加価値化、低コ スト化、規模拡 大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹	1.05 ha	果樹	2.00 ha	赤坂	新規就農、高付 加価値化、低コ スト化、規模拡 大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 野菜	0.41 ha	果樹 野菜	1.00 ha	竹鼻	新規就農、高付 加価値化、低コ スト化、規模拡 大	
認農	※※ ※※	※※ 才	野菜	1.61 ha	野菜	3.13 ha	留岡、長坂	新規就農、高付 加価値化、低コ スト化、規模拡 大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹	1.13 ha	果樹	1.20 ha	派立、中十川	新規就農、高付 加価値化、低コ スト化、規模拡 大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹	0.82 ha	果樹	1.08 ha	三島	新規就農、高付 加価値化、低コ スト化、規模拡 大	
到達	※※ ※※	※※ 才	水稻 果樹	5.51 ha	水稻 果樹	6.00 ha	高館、三島	新規就農、高付 加価値化、低コ スト化、複合 化、規模拡大	うち機構 面積 2.36ha

到達	※※ ※※	※※ 才	果樹	0.00 ha	果樹	1.00 ha	赤坂	新規就農、高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹	0.76 ha	果樹	1.00 ha	赤坂	新規就農、高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稲	1.92 ha	果樹 水稲	2.65 ha	高館	高付加価値化、低コスト化、複合化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹	0.00 ha	果樹	1.00 ha	高館	高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	水稲 果樹	0.91 ha	水稲 果樹	2.00 ha	竹鼻	高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稲 果樹	3.23 ha	水稲 果樹	3.23 ha	赤坂、派立	高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稲 果樹 野菜	1.98 ha	水稲 果樹 野菜	2.28 ha	中十川、長坂	高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
集	※※ ※※	※※ 才	水稲	10.00 ha	水稲	12.00 ha	派立	高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
集	※※ ※※	※※ 才	水稲	10.00 ha	水稲	12.00 ha	竹鼻	高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹	0.00 ha	果樹	0.91 ha	長坂	新規就農、高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	野菜	0.60 ha	野菜	0.70 ha	高館	新規就農、高付加価値化、低コスト化、規模拡大	
認農法	※※ ※※	※※ 才	水稲	9.62 ha	水稲	20.00 ha	竹鼻、安入	6次産業化、高付加価値化、複合化、低コスト化、規模拡大	うち機構面積 8.12ha

認就	※※ ※※	※※ 才	野菜	0.74 ha	野菜	0.74 ha	竹鼻	新規就農、規模拡大	
認就	※※ ※※	※※ 才	水稻野菜	4.92 ha	水稻野菜	5.00 ha	赤坂	新規就農、規模拡大	うち機構面積1.35ha
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹	1.44 ha	果樹	2.00 ha	赤坂	新規就農、規模拡大	
到達	※※ ※※	※※ 才	果樹	0.51 ha	果樹	0.51 ha	長坂	新規就農、規模拡大	
認就	※※ ※※	※※ 才	果樹	2.47 ha	果樹	3.00 ha	高館	新規就農、規模拡大	
認農法	※※ ※※	※※ 才	果樹	1.12 ha	果樹	3.00 ha	竹鼻	規模拡大、六次産業化	
認就	※※ ※※	※※ 才	果樹	0.60 ha	果樹	2.30 ha	竹鼻	新規就農、規模拡大	
認就	※※ ※※	※※ 才	果樹	0.38 ha	果樹	0.38 ha	長坂	新規就農、規模拡大	
認就	※※ ※※	※※ 才	上記に同じ	上記に同じ ha	上記に同じ	上記に同じ ha	上記に同じ	新規就農、規模拡大	上記と夫婦型
認農法	※※ ※※	※※ 才	果樹	7.60 ha	果樹	8.00 ha	派立長坂	規模拡大、六次産業化	
認就	※※ ※※	※※ 才	野菜	0.15 ha	野菜	0.15 ha	高館	規模拡大、新規就農、高付加価値化	

認就	※※ ※※	※※ 才	果樹	1.35 ha	果樹	2.00 ha	高館 竹鼻	規模拡大、新規 就農、高付加価 値化、低コスト 化	
認就	※※ ※※	※※ 才	上記に同じ	上記に同じ ha	上記に同じ	上記に同じ ha	高館 竹鼻	規模拡大、新規 就農、高付加価 値化、低コスト 化	上記と夫 婦型
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻	1.16 ha	果樹 水稻	2.00 ha	中十川 赤坂 高館	規模拡大、高付 加価値化、低コ スト化	
認農	※※ ※※	※※ 才	果樹 水稻 野菜	3.48 ha	果樹 水稻 野菜	3.50 ha	高館 三島 赤坂	規模拡大、高付 加価値化、低コ スト化	
認農	※※ ※※	※※ 才	水稻 果樹	9.93 ha	水稻 果樹	18.00 ha	竹鼻 三島	規模拡大、高付 加価値化、低コ スト化	うち機構 面積 3.01ha
計		95 人		283.5 ha		413.8 ha			

注1：「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2：「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3：「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。